

町民活動団体紹介 25

より良い地域づくりのため活動をしている団体を紹介します

団体名 憩の家「卯(うさぎ)の里」

◆活動内容 高齢者が主な利用者で、将棋、囲碁、健康麻雀、オカリナ、二胡、クッキング等で気軽に利用してもらっています。また、定期的に役員会を開き利用状況を話し合っています。

◆活動日 毎日午前9時～午後5時まで家を開けて、いつでも利用できるようにしています。

◆活動場所 野木町友沼5905-49

◆会員数 25名

◆ひとこと 地域の人たちの親睦の場として利用してもらっていて、将棋、楽器演奏の活動以外にも、定期的に手打ちそば、うどん教室も開催しています。参加者等広く募集していますので、興味のある方はご連絡ください。



町民活動とは、営利を目的とせず、社会的な課題の解決に向けて町民が主体となって行う社会貢献活動のことです。

・当団体については……問野田 光典 ☎(55)2263

みなさんも楽しく、元気に町民活動、ボランティア活動に取り組んでみませんか。ご興味のある方は、ボランティア支援センターきらり館まで、お気軽にお問い合わせください。

・町民活動等については…問ボランティア支援センターきらり館 ☎0280(23)1231

広報連絡委員レポート№.420



コロナの一年これからの一年

広報連絡委員 須田 美和

昨年の緊急事態宣言から1年、まだコロナ禍にあり「新しい生活様式」を模索しながらの毎日を過ごしています。

社会生活に必要な「移動する、集まる、対話する」という3つの自由が制限されましたが、対話する自由だけはオンラインで新しい発見と発展をしています。効率的で広域のつながりが出来た一方で、やはり集まって話したい思いが募ります。特に文化活動は会場閉鎖が多く、殆ど出来ずに過ぎましたが、潤島の地域活動は、野外が多いので何とか再開されています。

2月の農業事業の堀ざらいでは自分の足で1歩1歩堀をさらいながら進み、潤島の土地を確認しながら地域の皆さんとの交流が出来て、久々に嬉しい半日となりました。

その中で昨年9月に銅屋根の盗難にあった星宮神社は、改修工事が済み、犯人逮捕の話も聞いて、安堵しました。436年の長い歴史のある地域の

氏神様の綺麗な屋根を見て、人間の強欲を捨て新しく生まれ変われと諭してくれている様に感じました。

奇しくも人の移動制限により、自然環境が復活するなどSDGsの目標達成に近づくヒントになりました。自分も外へのエネルギーを内面に向ける時間を得て、ゆとりや遊びの時間を持てる生活空間作りが、対話・コミュニケーションに大切だと気付きました。

「土」から「風」の時代が始まったとも言われる今、物質・権力社会から、情報・知性重視の流動的で柔軟に変化する時代が変わっていくそうです。この1年はその過渡期だと感じる事が多く、不思議な気持ちになります。

コロナで閉塞感が続く中ですが、自由な心で自分らしい幸福感を持って、子どもたちが生きやすい地域になるよう考えながら、これからの1年を過ごしていきたいと思っています。

